

みずほCustomer Desk Report 2018/08/31 号(As of 2018/08/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.69	1.1710	130.78	1.3035	0.7310
SYD-NY High	111.75	1.1718	130.87	1.3043	0.7315
SYD-NY Low	110.95	1.1642	129.42	1.2985	0.7249
NY 5:00 PM	111.00	1.1671	129.53	1.3006	0.7264
NY DOW	25,986.92	▲ 137.65	日本2年債	-0.1100	1.00bp
NASDAQ	8,088.36	▲ 21.32	日本10年債	0.1100	2.00bp
S&P	2,901.13	▲ 12.91	米国2年債	2.6513	▲ 2.82bp
日経平均	22,869.50	21.28	米国5年債	2.7509	▲ 3.20bp
TOPIX	1,739.14	▲ 0.46	米国10年債	2.8577	▲ 2.72bp
シカゴ日経先物	22,740.00	▲ 245.00	独10年債	0.3445	▲ 6.00bp
ロンドンFT	7,516.03	▲ 47.18	英10年債	1.4515	▲ 3.80bp
DAX	12,494.24	▲ 67.44	豪10年債	2.5595	▲ 1.35bp
ハンセン指数	28,164.05	▲ 252.39	USDJPY 1M Vol	6.89	0.46%
上海総合	2,737.74	▲ 31.56	USDJPY 3M Vol	7.48	0.31%
NY金	1,205.00	▲ 6.50	USDJPY 6M Vol	7.78	0.13%
WTI	70.25	0.74	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	192.80	▲ 0.15	EURJPY 3M Vol	8.73	0.41%
ドルインデックス	94.67	0.07	EURJPY 6M Vol	9.03	0.40%

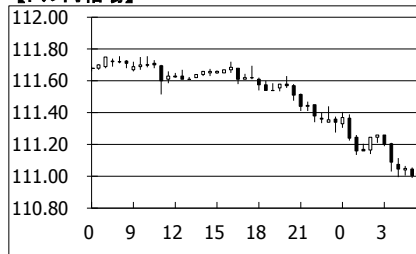
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月30日	21:30	米 個人所得	7月 0.3%	0.4%
	21:30	米 個人支出	7月 0.4%	0.4%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	7月 0.1%/2.3%	0.1%/2.3%
	21:30	米 PCEコアデフレ(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.0%	0.2%/2.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 213k	212k

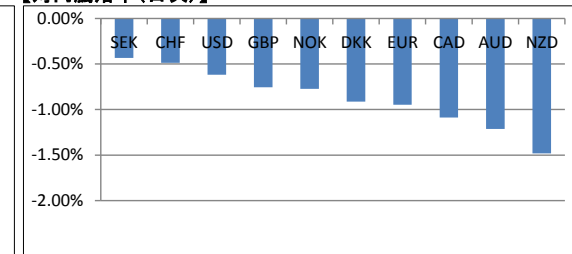
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月 0.2%/2.7%	-1.8%/-0.9%
	10:00	中 非製造業PMI	8月 53.7	54.0
	10:00	中 製造業PMI	8月 51.0	51.2
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	7月 -0.2%/1.3%	0.9%/3%
	18:00	欧 失業率	7月 8.2%	8.3%
	18:00	欧 コアCPI	8月 1.1%	1.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 95.5	95.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.60-111.50	1.1620-1.1720	128.80-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な展開となった。アルゼンチンペソは13日に45%へ引き上げたばかりの政策金利を60%へ引き上げたにもかかわらず最安値を大きく更新する等、新興国通貨の下落によるリスク回避で円買いが強まった。また、米中間の貿易摩擦激化の懸念も再燃し、ドル/円は110.95円まで下落する値動きとなっている。本日は上値重い展開を予想する。前日まで堅調だった米株は反落し、本日の日経平均も軟調な動きが予想される。新興国通貨安や株安に加えて、バルニエEU離脱主席交渉官による“合意なきBrexitの可能性は残されている”との発言もあり、リスク回避の地合いから、ドル/円は上値の重い値動きとなりそうだ。

東京	東京時間のドル円は111.69レベルでオープン。月末を控えたゴトー日となるこの日、本邦勢による実需フローが散見される中、ドル円は111.70付近で小刻みに推移。その後豪州にて発表された7月住宅着工件数や第2四半期設備投資などの経済指標が総じて市場予想を下回る内容となると、豪ドルが対ドルで急落、クロス円も下落する展開となりドル円も連れる格好に一時111.52まで軟化。その後ややレベルを戻すも、日経平均株価がオープンから上げ幅を縮小する動きが止まらず軟調推移となったこともあり、午後のドル円は上値重く横ばい推移。特段目立った動きもなく、結局111.67レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.67レベルでオープン。特段ドル円相場のドライバーとなるような材料がない中、じりじりと水準を下げる展開。欧州時間は111.41まで値を下げ、111.44レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1696レベルでオープン。朝方に発表されたユーロ圏8月消費者信頼感速報値と一致したことで特段のインパクトはなし。ボンドの上下に連れる展開となり1.1676から1.1718の間のレンジ感で取引され、1.1687レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3030レベルでオープン。EUバルニエ氏の発言で前日の急上昇に水を差される中で上値追いは限定的に、朝方に発表された英7月消費者向け融資が予想を下回ると、一時1.2990まで下落。その後は1.3の台を回復し1.3016レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	トルコ中央銀行のバシグ副総裁の辞任報道や、アルゼンチンのマクリ大統領がIMFに500億ドルの支援融資の前倒しを要請したことなどが報道される中、海外市場ではトルコ、アルゼンチンペソ等の新興国通貨売り主導で円が買われたことから、ドル円は111.41まで下落し、111.44レベルでNYオープン。朝方発表された米経済指標の結果は市場予想範囲内だったことからドル円の反応は限定的だったが、海外時間の円買い地合いが継続し111.14まで下落する。一旦111.26まで戻すが、「トランプ大統領が来週にも2000億ドルの対中関税発動を支持」とのヘッドラインが流れ、米中貿易摩擦激化への懸念からドル円は円買いが強まり、一時110.95まで下値を切り下げ。結局111.00レベルでクロス。一方、海外時間のユーロドルは一時1.1718まで上昇するが、前日にプレグジット交渉の合意に対し、前向きな姿勢を示したバルニエEU主席交渉官の「合意なき英離脱は依然あり得る」と発言したことや、一部欧州金融機関がトルコリスクを抱える中トルコリラの売りが加速したことから、1.1676まで下落し、1.1687レベルでNYオープン。リスクオフムードが広がる中、朝方は海外時間の流れを引き継ぎ1.1642まで下落する。午後は米国の対中追加関税の報道を受け、ドル売りが強まったことから、ユーロドルは1.1679まで戻し、1.1671レベルでクロス。なおこの日は、アルゼンチン中央銀行がアルゼンチンペソ安に歯止めをかけるため、政策金利を45%から60%へ引き上げたものの、その後もペソ安が進み対ドルで過去最安値を更新した。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大熊・鶴田